広報 あなたの区政
えどがわ
EDOGAWA CITY
2010年 平成22年 4/1 No.1568 毎月1日・10日・20日発行
予算特集号
■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

区民と共に希望あるまちを創る
平成22年度予算

4月からの1年間に区が行う事業と、その経費を定めた22年度の予算が決まりました。
新年度予算の内容について、特集で紹介します。 問 財政課☎(5662)6148

予算総額 3,153億円

一般会計 2,129億円

■誇るべき地域力とともに、安心して暮らせる区政運営を実現！

平成22年度 予算編成にあたって

江戸川区長 多田心見

一昨年来の世界的な不況により景気が急速に悪化し、国、地方の税収は激減いたしました。本区においても、特別区税や財政調整交付金など基幹的な財源が減収し、22年度予算の編成にあたっては、かつてない厳しい状況となりました。こうした中、区民のみなさんの安全で安心できる暮らしを守るためには、行政サービスの水準を維持しなければなりません。

江戸川区はこれまで、様々な行財政改革をはじめとした健全財政を推進し、基金を積み立ててきました。これにより、新年度も、重点施策である地域の経済・産業支援や子育て、教育、医療など、住民福祉の増進に向けた課題に取り組むことができました。こうした区政運営を支えているのは、長い歴史の中で幾多の困難を乗り越えてきた「誇るべき地域力」があったからにほかなりません。

厳しい時代ではありますが、「共育」「協働」の理念のもと、常に未来志向で、夢と希望を持てる区政の実現を、区民のみなさんと共に力強く目指してまいります。

新年度予算の主な新規・拡充事業➡2・3面
数字でみる平成22年度予算➡4面

平成22年度 重点施策

◆未来を担う人づくり
学校活性化事業の一環として、小・中学校で全国初となる「読書科」の新設に向けた「読書改革プロジェクト」を実施します。また、築50年を経過した小・中学校の改築を松江小学校から順次行っていきます。

◆学びと協働による区民文化づくり
4月にオープンする中平井コミュニティ会館、来年開設予定の東葛西地区区民施設や東小岩地区図書館など、地域住民の様々な活動の拠点として、新たなコミュニティを育む場となる区民施設を建設します。

◆いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり
東京国体（25年度開催予定）の競技で使用する施設の整備を行います。また、感染症予防対策として、肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンなどの接種費用を助成していきます。

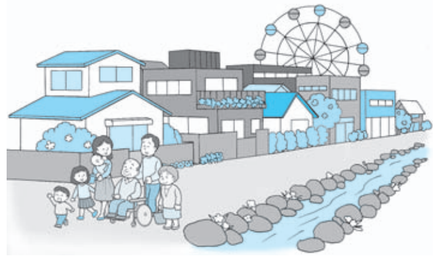
◆区民参加による環境づくり
えどがわエコセンターを中心に、「もったいない運動」をより浸透させていきます。また、各家庭に合わせて活用できる「えどがわ省エネアドバイス」の作成など、区民一人ひとりが自ら省エネに取り組む活動を推進していきます。

◆活力を創造する産業づくり
区内地場産業の製品開発への支援や、区内一斉商品券まつりへの補助、省電力型（LED）街路灯の設置資金の貸し付けなど、地域の経済・産業の活性化に取り組んでいきます。

◆区民の暮らしを力づよく支えるまちづくり
JR小岩駅周辺のまちづくりや密集住宅市街地の整備など、都市基盤の充実・質の向上を図ります。また、総合自転車対策の推進や都市計画道路・橋梁の整備、住宅・マンションの耐震化などを進めていきます。

◆区民本位で効率的な区政運営
指定管理者による区民施設の管理を拡大し、民間活力を更に活用します。また、今後20年間で実施する学校改築の施工業者の選定にあたり、公平性・公正性などを目的とした新入札・契約制度を構築します。

区民が安全で安心して暮らせる区政を実現する主な新規・拡充事業



未来を担う人づくり

家庭教育の充実・家庭に対する支援

◇子ども手当（児童手当）の支給（拡）　139億5,360万円

中学校修了まで（15歳到達後、最初の年度末まで）の児童を養育している方に、児童一人につき月額13,000円を子ども手当として支給します。所得制限はありません。手当の概要・申請方法などは、広報えどがわ４月10日号でお知らせします。

地域での次代を担う人づくり

◇子ども未来館の運営（新）　9,279万円

▲完成間近の子ども未来館

子ども未来館では、子どもたちの理知活動や探究活動の基地として、地域の人材や資源を活用し、学校ではできない様々な体験プログラムを提供します。１階には約２万冊の児童書を備えた篠崎子ども図書館を併設します。

◇私立保育園施設整備等助成（新）　6億5,267万円

増え続ける保育需要に応（こた）えるため、22年～23年に新設・改築する４園の私立保育園に対して、家賃・建設費の助成などを行います。

21世紀にふさわしい学校教育の推進

◇学校活性化事業（新）　1,329万円

▲朝読書をする児童

「読書改革プロジェクト」を立ち上げ、子どもたちの読書活動を強力に推進します。今後は、全国初となる「読書科」を新設する準備を行い、子どもたちが継続的に本を読むことができる時間を確保するとともに、学校・地域を挙げて図書運動を盛り上げていきます。また、地域ぐるみで学校を支援する体制を学校応援団で築いていきます。

◇外国人英語科指導助手（拡）　9,412万円

23年度に小学校で必修になる外国語科に対応するため、授業の配置時間数を拡大します。

◇学校の改築（拡）　4億1,161万円

築50年を経過し、老朽化した学校を改築します。松江小学校から着手し、以降、船堀小学校・第二葛西小学校・第三松江小学校・春江小学校・松江第五中学校の改築を進めます。

学びと協働による区民文化づくり

人生を豊かにする生涯学習

◇東小岩地区図書館の建設（新）　12億9,904万円

現在の小岩図書館を東小岩３丁目に新築移設します。23年12月の開館を目指し、建設を進めます。

◇中平井コミュニティ会館の建設（拡）　4,062万円

敷地面積2,134㎡、集会室・音楽室・スポーツルームなど、地域からの要望の高い機能を備えた区内30番目の地域施設として、４月25日㈰に開館します。

▲開館が待たれる東葛西地区区民施設

◇東葛西地区区民施設の建設（新）　12億5,776万円

区内31番目の地域施設として、23年４月の開館を目指し、建設を進めます。地域住民の様々な活動の拠点となるばかりではなく、新たなコミュニティを育（はぐ）む場として、まちの魅力向上につなげます。

いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

生涯スポーツの推進

◇国民体育大会施設整備（新）　2,886万円

25年開催予定の東京国体の準備として、臨海球技場の整備設計、ボートコースの測量・設計を行います。

◇スポーツ施設の建設（拡）　939万円

総合体育館に射程50m、17人が横一列に並んで競技できる本格的なアーチェリー競技施設が、５月16日㈰にオープンします。

感染症と健康危機への対応

◇肺炎球菌ワクチン接種費用の助成（拡）　4,901万円

肺炎にかかりやすい熟年者（65歳以上）および内部障害１級の方（40歳～65歳未満）を対象に、肺炎球菌ワクチンの接種費用の半額を助成します。

◇ヒブワクチン接種費用の助成（新）　1億4,425万円

ヒブ（インフルエンザ菌ｂ型）による細菌性髄膜炎にかかりやすい、生後２か月～４歳のお子さんを対象に、ヒブワクチンの接種費用の半額を助成します。

生活の安定促進

◇住宅手当緊急特別措置事業（新）　5,047万円

国の「経済危機対策」に基づき、就労意欲のある離職者のうち、住宅を喪失しているまたは喪失する恐れのある方に対し、住宅手当を支給し、住宅および就労機会の確保に向け支援します。

◇生活援護第三課の新設（新）　9,134万円

葛西地区に、生活援護第三課を新設し、適切な対応を図るとともに、生活保護受給者の就労支援など、より積極的な取り組みを強化していきます。

◇自立支援給付（拡）　54億8,220万円

障害者の居宅介護、生活介護、児童デイサービス、就労支援など障害者福祉サービスの充実に努めます。

区民参加による環境づくり

地球温暖化対策の推進

◇次世代型省エネナビの設置モニター制度（新）　1,833万円

「もったいない運動えどがわ」を地域全体に浸透させ、区民一人ひとりが自ら省エネに取り組むことができるように機運を高めていきます。今後は、各家庭に合わせて活用できる「えどがわ省エネアドバイス」を作成するなど、より一層、幅広い省エネの運動を進めていきます。

活力を創造する産業づくり

商業・生活サービス業の活性化

▲区商連小岩南支部の恋話物語

◇区内一斉商品券まつり補助など（拡）　1億2,258万円

江戸川区商店街連合会（区商連）が実施する、区内一斉商品券まつりの割引分の一部を補助します。そのほかに、商店街が企画するイベントや事業に対して必要な助成を行うなど、地域の商店街の活性化を支援します。

◇（仮称）商店街「わがまちの名物コンテスト」の実施（新）　98万円

区商連と協力し、商店街オリジナルの名物・逸品を作り上げていく事業を展開します。

◇省電力型街路灯設置資金貸付事業（新）　4,507万円

商店街が省電力となるLED街路灯を設置する際に、国や都からの補助金が交付されるまでの間、資金を貸し付けます。

都市農業の継承

◇区民農園の管理運営委託（新）　2,697万円

区民農園の業務を民間に委託し、より細かなサポートを実施します。日常的な見回りや景観に配慮した維持管理、簡単な農業指導、利用者決定のための抽選会の実施などを委託します。

区民の暮らしを力づよく支えるまちづくり

都市基盤の充実・質の向上

◇密集住宅市街地整備促進事業（拡）　5億2,267万円

木造住宅が密集した地域の住環境を向上させるため、区内８地区で実施している密集住宅市街地整備促進事業を、民間活力の活用など、様々な手法を駆使して、より効果的に進めていきます。

◇ＪＲ小岩駅周辺まちづくり　3,303万円

基本構想に沿い、事業計画案の作成、区画整理換地素案の設計委託、合意形成に向けた取り組みを行います。

利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

◇環七シャトルバス（シャトル☆セブン）の停留所整備（拡）　8,228万円

これまでの乗客数が250万人を超えるなど、多くの方に好評の環七シャトルバスは、バスの接近情報や主要バス停までの到着予定時間など、情報発信型のバスステーションとして整備し、より利用しやすい環境づくりを進めます。

◇総合自転車対策の推進（拡）　13億3,627万円

23年春の供用開始を目指し、一之江駅南口に756台を収容できる地下機械式の駐輪場を建設します。

▲来年春の完成を目指す一之江駅地下駐輪場

▲架け替え工事が進む新川橋

◇都市計画道路・橋梁（きょうりょう）の整備（拡）　52億1,740万円

災害に強いまちをつくるため、区民生活に最も身近な都市計画道路（７路線・11か所、総延長8,348ｍ）と橋梁（上一色中橋、新川橋など）を整備します。

地域の魅力を高めるまちづくり

◇新川の修景整備など（拡）　9億8,365万円

▲完成した新川西水門広場

新川千本桜計画に合わせ、護岸の改修・沿道整備・桜の植栽を行い、回遊や散策のできるまちなみを作ります。

◇交通安全対策の充実（拡）　1億8,914万円

自転車安全走行指導員による走行マナーの啓発を、区内10駅周辺の35路線で行います。また、スタントマンを活用した自転車安全教室を、中学校11校で実施します。

◇公園などの整備（拡）　6億134万円

公園・児童遊園の新設（３か所）・整備、総合レクリエーション公園のリニューアル、行船公園の整備、親水公園・親水緑道の整備などを行います。

安全で災害に強いまちづくり

◇住宅などの耐震化の促進　2億8,153万円

昭和56年５月31日以前の耐震基準で建てられた戸建て住宅やマンションへの耐震化の助成を進めます。また、マンションの耐震化を促進するために、管理組合へ専門家の派遣を行います。

区民本位で効率的な区政運営

◇新入札・契約制度の構築（新）　4,041万円

学校改築工事の施工業者の選定にあたって、価格や品質に加え、学校教育や地域への貢献度、地域経済活性化への効果、災害発生時の復旧活動への協力などを総合的に評価する、新たな契約制度を導入します。

◇区の情報処理体制の再整備（拡）　38億7,479万円

区民サービスの向上と事務処理の効率化・高度化を目指した電子区役所を実現するため、新情報処理体制の構築作業を計画的に進めます。

◇民間活力の活用促進（拡）

区民館などの受付業務の委託（全区民館、松江コミュニティ会館）や指定管理者による管理の拡大（葛西・西葛西・東葛西図書館、清新町コミュニティ図書館を一括して導入）、23年度に指定管理者を更新する16施設の準備（公募・選定・決定）など、民間活力の活用により行財政改革を加速させ、より効率的な行政体質を構築していきます。

※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。

予算や財政状況の詳しい内容は、区ホームページでご覧いただけます。「行政情報」の項目から「行財政」に進む ＝ http://www.city.edogawa.tokyo.jp/gyosei/zaisei/index.html

広報 えどがわ
2010年 平成22年 4/1
予算特集号
4
■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

数字でみる 平成22年度予算

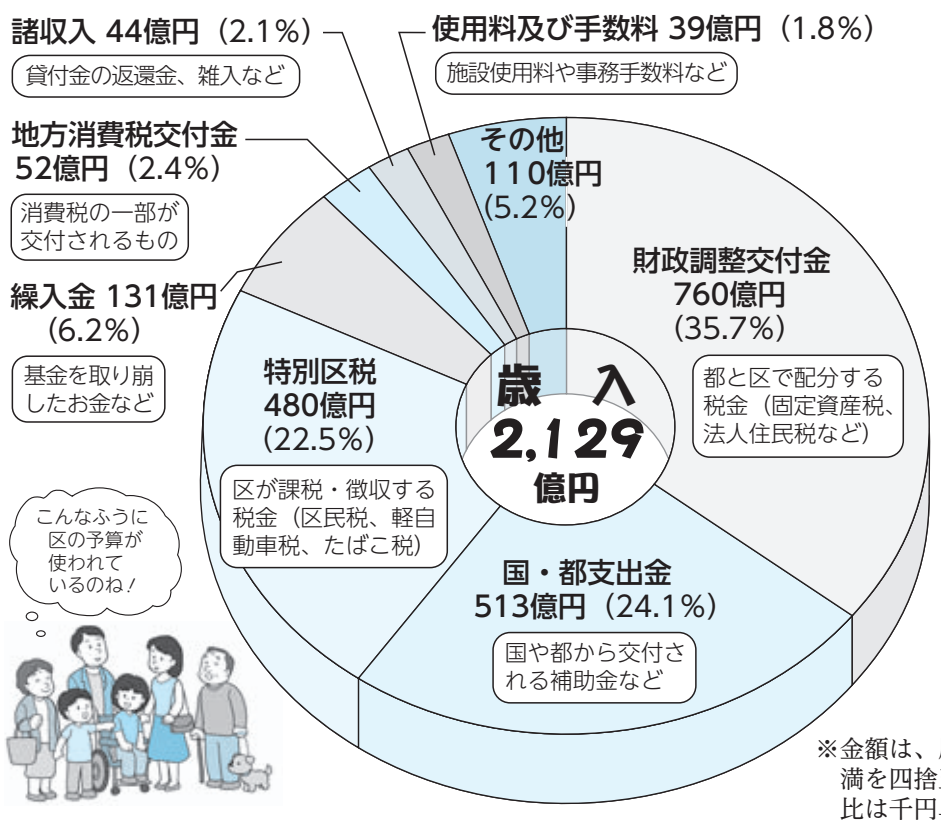
区では、区民のみなさんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結する様々な施策を行っています。限られた貴重な財源を区民サービス向上のため有効かつ適切に活用し、安全・安心の区政を進めます。

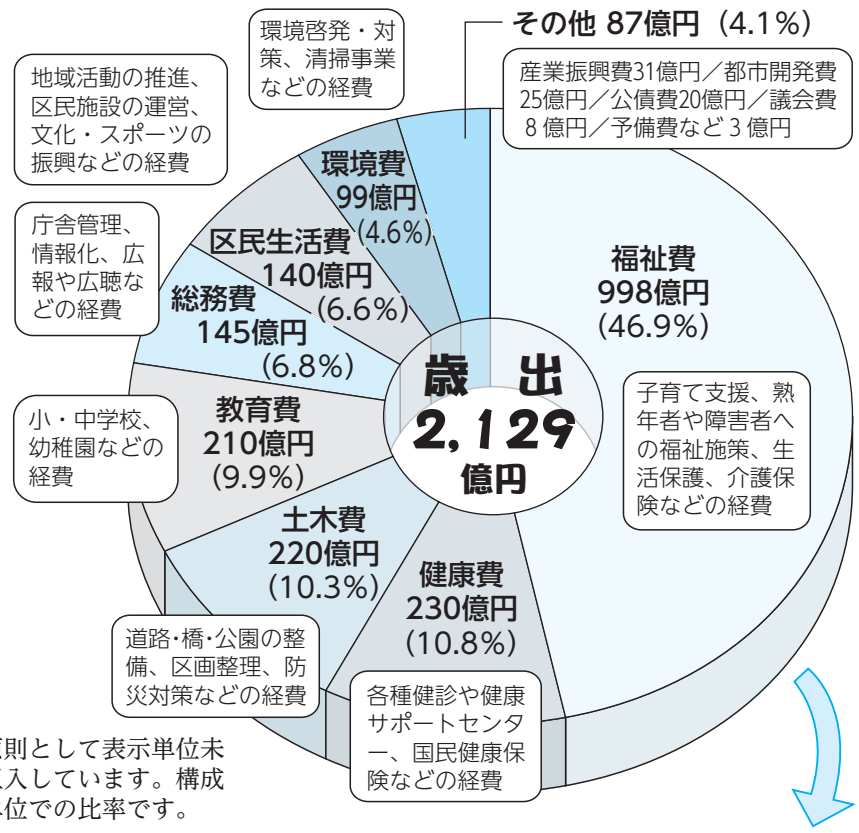
問 財政課☎(5662)6148

会計別予算の規模

区分	22年度	21年度	増減率
一般会計	2,129億1,306万6千円	2,012億7,781万3千円	5.8%
国民健康保険事業特別会計	671億2,771万9千円	719億 130万6千円	△6.6%
老人保健医療特別会計	5,987万6千円	1億6,756万8千円	△64.3%
介護保険事業特別会計	269億9,225万5千円	257億9,943万7千円	4.6%
後期高齢者医療特別会計	82億2,532万8千円	79億5,039万9千円	3.5%
合計	3,153億1,824万4千円	3,070億9,652万3千円	2.7%

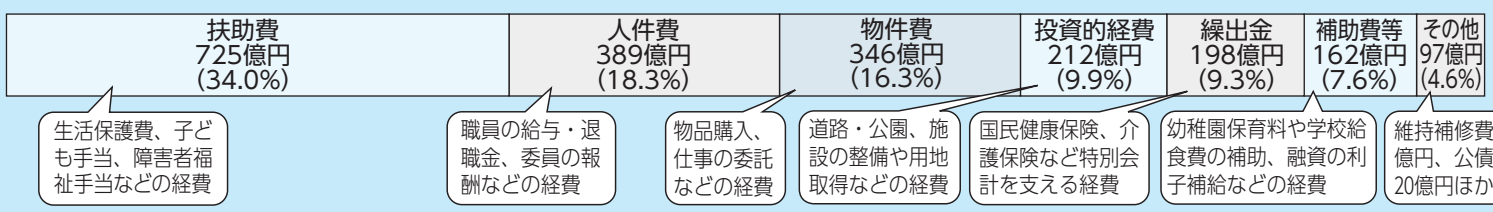
一般会計の内訳





※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。構成比は千円単位での比率です。

歳出の性質別内訳



一般会計予算額を1万円に換算すると・・・

熟年者福祉 障害者福祉などに 2,494円	子育て支援などに 2,193円	道路・公園の整備 まちづくり、防災対策などに 1,150円	健康施策 国民健康保険事業などに 1,080円	学校教育などに 988円
地域活動の推進 文化・スポーツの振興などに 656円	環境啓発・対策 清掃事業などに 464円	産業の振興などに 147円	区の借入金の返済に 95円	その他（区政運営・議会活動） 733円

平成22年度予算編成にあたって➡1面／新年度予算の主な新規・拡充事業➡2・3面